



2022年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年4月4日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 不二越
コード番号 6474 URL <http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 坂本 淳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 古澤 哲 (TEL) 03-5568-5210
四半期報告書提出予定日 2022年4月8日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年11月期第1四半期の連結業績（2021年12月1日～2022年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年11月期第1四半期	59,995	13.0	3,636	50.5	3,610	57.3	2,379	51.5
2021年11月期第1四半期	53,072	△5.7	2,416	5.8	2,295	19.5	1,570	51.9

(注) 包括利益 2022年11月期第1四半期 4,361百万円 (△4.7%) 2021年11月期第1四半期 4,574百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年11月期第1四半期	99.97	—
2021年11月期第1四半期	64.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年11月期第1四半期	320,688	139,294	41.2
2021年11月期	319,312	138,211	40.7

(参考) 自己資本 2022年11月期第1四半期 132,256百万円 2021年11月期 130,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年11月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2022年11月期	—	—	—	—	—
2022年11月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年11月期の連結業績予想（2021年12月1日～2022年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	123,000	9.8	8,000	24.3	7,500	15.3	5,200	16.2	218.25
通期	250,000	9.1	17,000	15.5	16,000	10.7	11,000	10.1	461.12

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年11月期 1 Q	24,919,343株	2021年11月期	24,919,343株
② 期末自己株式数	2022年11月期 1 Q	1,104,863株	2021年11月期	1,135,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年11月期 1 Q	23,800,921株	2021年11月期 1 Q	24,372,793株

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、（添付資料）2ページ「（3）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 今後の見通し	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループをとり巻く環境は、経済活動の正常化が進み、日本・欧米などの先進国経済の持ち直しが続くなか、半導体不足による自動車の減産などもありましたが、総じて緩やかな回復基調にあります。一方で、新型コロナウイルス感染症の再拡大や中国経済の減速懸念に加え、ウクライナ情勢の悪化に伴う原材料・エネルギー価格の高騰など、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、中長期的な脱炭素・EV化をはじめとする産業構造の大変革を見据え、ロボット事業をはじめ、工具、工作機械、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての長をを活かし、ユーザーのものづくりに寄与する新商品の開発や技術提案などにより、受注・売上の拡大にとり組んでおります。また、収益の改善に向けて、需要の変化に対応する世界の工場再編、合理化、内製拡大など、事業全般の構造改革を推進しております。

当第1四半期連結累計期間においては、自動車分野で生産調整などがありましたが、建設機械・産業機械・市販分野の需要が回復・拡大したことにより、連結売上高は、599億95百万円(前年同期比13.0%増)、このうち、国内売上高は298億80百万円(同8.9%増)、海外売上高は301億14百万円(同17.5%増)となりました。利益面につきましては、売上・生産の増加による操業度の改善に加え、原材料価格上昇分の販売価格への環流や、生産ラインの自動化・合理化による生産性の向上、調達コストダウンにとり組み、また、為替が円安で推移した結果、営業利益は36億36百万円(同50.5%増)、経常利益は36億10百万円(同57.3%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億79百万円(同51.5%増)となりました。

セグメントの経営成績につきましては、次のとおりであります。

機械工具事業では、回復基調にある工具需要と、国内・中国を中心としたロボット需要の拡大により、売上高は180億91百万円(前年同期比9.6%増)となり、営業利益は12億94百万円(同3.6倍)となりました。

部品事業では、自動車分野において生産調整の影響がありましたが、建設機械・産業機械・市販分野で需要が回復し、売上高は381億25百万円(前年同期比12.8%増)となり、営業利益は、操業度が改善する一方で、原材料価格の高騰などの影響を受け、21億5百万円(同4.1%増)となりました。

その他の事業では、特殊鋼需要の回復と販売価格の引き上げなどにより、売上高は37億78百万円(前年同期比37.2%増)、営業利益は2億34百万円(同11.6倍)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、3,206億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億76百万円増加しました。主として、受取手形、売掛金及び契約資産が32億19百万円、棚卸資産が29億18百万円、有形固定資産が31億88百万円増加し、現金及び預金が79億81百万円減少しております。

負債合計は、1,813億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億93百万円増加しました。主として、借入金が44億36百万円増加し、賞与等を含む未払費用が26億45百万円、未払法人税等が17億81百万円減少しております。

純資産合計は、1,392億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億83百万円増加しました。主として、その他有価証券評価差額金が4億76百万円、為替換算調整勘定が17億2百万円増加しております。

(3) 今後の見通し

2022年11月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想については、2022年1月13日発表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,771	33,789
受取手形及び売掛金	55,100	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	58,320
商品及び製品	26,743	28,330
仕掛品	13,246	12,484
原材料及び貯蔵品	17,391	19,484
未収還付法人税等	60	88
その他	5,064	4,625
貸倒引当金	△119	△119
流動資産合計	159,258	157,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,254	31,018
機械装置及び運搬具(純額)	63,811	65,406
その他(純額)	21,194	21,024
有形固定資産合計	114,260	117,449
無形固定資産	2,861	2,955
投資その他の資産		
投資有価証券	27,777	28,399
退職給付に係る資産	9,613	9,372
その他	5,548	5,514
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	42,931	43,279
固定資産合計	160,053	163,683
資産合計	319,312	320,688
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,826	48,551
短期借入金	7,347	17,190
コマーシャル・ペーパー	5,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	21,861	21,084
未払法人税等	3,010	1,228
その他	18,299	14,173
流動負債合計	103,344	107,228
固定負債		
長期借入金	56,266	51,637
役員退職慰労引当金	28	22
株式給付引当金	332	377
退職給付に係る負債	9,754	9,612
その他	11,373	12,516
固定負債合計	77,755	74,165
負債合計	181,100	181,393

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,401	11,401
利益剰余金	96,875	96,900
自己株式	△4,924	△4,773
株主資本合計	119,427	119,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,079	13,556
為替換算調整勘定	△2,737	△1,034
退職給付に係る調整累計額	334	131
その他の包括利益累計額合計	10,676	12,654
非支配株主持分	8,107	7,037
純資産合計	138,211	139,294
負債純資産合計	319,312	320,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)
売上高	53,072	59,995
売上原価	42,053	46,390
売上総利益	11,019	13,604
販売費及び一般管理費	8,602	9,967
営業利益	2,416	3,636
営業外収益		
受取利息	29	33
受取配当金	72	109
持分法による投資利益	—	3
為替差益	91	173
その他	150	164
営業外収益合計	343	484
営業外費用		
支払利息	200	188
売上割引	112	125
持分法による投資損失	14	—
その他	137	196
営業外費用合計	464	510
経常利益	2,295	3,610
特別利益		
固定資産売却益	7	6
子会社清算益	—	271
特別利益合計	7	277
特別損失		
固定資産売却損	1	1
固定資産除却損	6	24
投資有価証券評価損	7	96
独占禁止法等関連損失	5	—
特別損失合計	20	122
税金等調整前四半期純利益	2,283	3,764
法人税、住民税及び事業税	567	1,204
法人税等調整額	99	132
法人税等合計	667	1,337
四半期純利益	1,615	2,427
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,570	2,379

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)
四半期純利益	1,615	2,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,202	478
為替換算調整勘定	1,890	1,643
退職給付に係る調整額	△114	△202
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	12
その他の包括利益合計	2,959	1,933
四半期包括利益	4,574	4,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,342	4,356
非支配株主に係る四半期包括利益	232	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、従来、顧客仕様に基づく機械装置等の製造の請負契約等に関して、進捗部分について成果の確実性が認められる請負契約等については工事進行基準を、その他の請負契約等については工事完成基準を適用しておりましたが、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。また、買戻し契約に該当する有償支給取引については、金融取引として有償支給先に残存する支給品について棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について「有償支給取引に係る負債」を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高が1億74百万円、売上原価が1億21百万円それぞれ増加し、販売費及び一般管理費が68百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が1億21百万円増加しております。また、利益剰余金の当期期首残高は56百万円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準等第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年12月1日至2021年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,513	33,804	2,754	53,072	—	53,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	191	72	708	973	(973)	—
計	16,705	33,877	3,463	54,046	(973)	53,072
セグメント利益	358	2,022	20	2,401	14	2,416

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年12月1日至2022年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,091	38,125	3,778	59,995	—	59,995
セグメント間の内部売上高 又は振替高	584	141	984	1,710	(1,710)	—
計	18,675	38,266	4,763	61,706	(1,710)	59,995
セグメント利益	1,294	2,105	234	3,634	1	3,636

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. (会計方針の変更)(収益認識に関する会計基準等の適用)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。